

キクの需要開拓を目指した新規花形キクの鉢物商品化への取組

～華麗な花形が美しい「かがり弁ギク」を鉢物仕立てで商品化！！～

佐久真ひろみ（愛知県農業総合試験場園芸研究部花き研究室）

【平成30年8月28日掲載】

【要約】

キクの需要開拓を目指して農業総合試験場が量研*と共同で開発した新規花形の「かがり弁ギク」は切り花として高い評価を受けている。新たに鉢物の商品化に向けて矮化剤の処理方法、需要期（9月～10月）出荷の栽培試験を行った。

その結果草姿の良いコンパクトな鉢物を仕立てるには、ダミノジット水溶剤の希釈液を摘心1週間後から3回散布することが適切であった。8月下旬からシェード処理を行うことで10月中下旬に開花し、花卉の先端の切れ込みの程度、花色ともに優れていた。

※国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

1 はじめに

愛知県農業総合試験場はキクの需要拡大を目指し、従来のキクのイメージから脱却するための新品種の開発に取り組んでいる。国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と共同で、花びらの先端に突起があり華麗な花形となる「かがり弁ギク」白・赤・黄の3品種（写真1）を開発し、平成29年11月24日に品種登録の出願を行った。

「かがり弁ギク」は愛知県温室園芸組合連合会きく部会が切り花の生産に取り組み、フィギュアスケートの国際大会で使われるなど、フラワーアレンジメントやブーケの花材として高い評価を得ている。その華麗な花形はポットマムと呼ばれる鉢物仕立てにも有望とみられた（写真2）。そこで、農業総合試験場では、鉢物の商品化を目指した試験を実施したので、その取組内容について紹介する。



写真1 かがり弁ギクの花形



写真2 かがり弁ギクの鉢物仕立て

2 矮化剤処理試験（園芸研究部花き研究室）

鉢物としてコンパクトに仕立てるため、矮化剤の処理回数と生育・開花について検討した。

(1) 方法

試験区は、矮化剤（ダミノジット80%水溶剤の2000ppm液）の処理回数が1回から3回までの3区と無処理区の合計4区を設けた（表1）。栽培は、平成28年8月15日に発根苗を5号鉢に4本定植し、8月22日に摘心し、自然日長下で行った。

(2) 結果及び考察

草丈は、全ての品種で矮化剤の処理回数が増えるほど低くなった（表1、写真3）。開花日は、黄色品種の3回区で無処理区より3日遅れたが、その他は大きな遅れは見られず、3回散布が効果的と考えられた。



1回区 2回区 3回区 無処理区

写真3 矮化剤処理による草姿

表1 試験区構成及び結果

試験区 (処理回数)	矮化剤処理日			白品種		赤品種		黄品種	
	8月29日	9月5日	9月12日	草丈	開花日	草丈	開花日	草丈	開花日
				cm		cm		cm	
1回区	○ ¹⁾	-	-	41.4	11月3日	40.6	11月7日	50.1	11月12日
2回区	○	○	-	35.4	11月5日	34.3	11月7日	45.1	11月12日
3回区	○	○	○	30.2	11月6日	30.4	11月7日	35.5	11月14日
無処理区	-	-	-	43.6	11月5日	44.8	11月6日	49.3	11月11日

1) ○は処理日を表す

2) ダミノジット水溶剤のポットマムへの登録使用回数は3回まで

3 需要期（9月～10月）出荷に向けた栽培試験（山間農業研究所園芸研究室）

中山間地域の冷涼な気候を生かした栽培方法として、シェード処理による促成栽培技術の開発に取り組んだ。

(1) 方法

試験区は、シェード処理開始時期により、7月下旬区、8月下旬区、無処理区の3区を設けた（表2）。栽培は、平成29年6月16日、7月16日、8月16日に3号ポリポットに発根苗を1本定植し、その6～8日目に摘心した後、2本仕立てとした。

(2) 結果及び考察

開花は、7月下旬区で10月上旬となった。8月下旬区では10月中下旬、無処理区では白品種が10月下旬、赤品種と黄品種が11月上旬に開花した（表3）。

目視により調査したところ、花卉の先端の切れ込みの程度及び花色は、7月下旬区では、無処理区より切れ込みの程度が弱く、特に赤品種の色が薄くなった（写真4）。8月下旬区では、無処理区と同様に切れ込みの程度が強く、赤品種の色が濃くなった（写真4）。

以上の結果、シェード処理開始時期が8月下旬ならば、無処理区と品質が同等で促成栽培が可能と考えられた。

表2 試験区の構成

試験区 (シェード開始処理時期)	定植日	摘心日	シェード処理期間
7月下旬区	6月16日	6月23日	7月21日～9月15日
8月下旬区	7月16日	7月24日	8月22日～9月15日
無処理区	8月16日	8月22日	自然日長

表3 試験区の開花日

試験区 (シェード処理開始時期)	開花日		
	白品種	赤品種	黄品種
7月下旬区	10月3日	10月4日	10月6日
8月下旬区	10月15日	10月19日	10月22日
無処理区	10月29日	11月5日	11月1日



7月下旬区

8月下旬区

無処理区

写真4 赤品種における花卉の先端の切れ込みの程度と花色

4 まとめ

コンパクトな鉢物に仕立てるための矮化剤の処理方法は、ダミノジット80%水溶剤2000 ppm液の3回散布が良好であった。

シェード処理の開始時期については、7月下旬では花卉の先端の切れ込みの程度が弱く、赤品種の花色が薄くなった。8月下旬ではほぼ順調に開花し、花卉の先端の切れ込みの程度が強く、花色が濃くなった。

これらの試験結果をまとめてマニュアル化し、かがり弁ギク鉢物の生産拡大を進めていきたい。